## 各部門の主要な施策の成果

1. 総務部門

事 業 項 目 及 び 事業費(決算額) 円	実	績	内	容		事	業	効	果
	地域おこし協力隊設 少子高齢化が進行す 壊を防ぐためには、 が不足している川内の創 とでは、 が不足して、 が不足して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 のの	る中ではなります。 はがい 地域を担まれてでくりる。 区のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	人材を確し いづく、 のでない。 ののを実施 がい、した に 所のので がい。 と に の を ま がい。 の を ま がい。 た り い り い り い り い り い り し り り り り り り り り	保し、地域を巻き  体や若手人材の活  域資源を活用した  営のほか、地域住  ることで、地域活  ・人選・雇用・い  ・大選・施してい  ・た。  企画や小学生向け	を企画動法と を を だの 活性性	・開作 をする	崔し <i>:</i> るこ	地域とに	
	八戸学院大学「むつ 下北地域では、看護 に看護師養成施設がよい。 る下北地域保健医療圏 る下北地域保健に福祉施 こどもたちが、生ま 仕組みを創出すること に開校した八戸学院大 品の購入費について、 た。	師資格を取得すくとは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というで、 このに、 このに、 このでは、 こ	つる際、当 会 会 会 会 会 で あるだ 学 び に 、 は で が さ だ で よ の に 、 は で が り で が り だ い で よ り だ 、 に 、 は た 、 に 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と	5,478,000 地域及び上十三地があり、県外の養 ご次保健医療圏で 、看護師不足が顕 感している。 地域医療を支えられ ため、令和7年4 必要な備品及び消	八戸学院 域成あ著 る月耗	院大学 校し、 指し、	学む こ 生	つ下 ども まれ	
	下北ジオパーク推進 下北5市町村と関係 推進協議会」へ負担を会下北大会をはじめた。また、ジオパーク推進員」を2人 1人配置した。 〇下北ジオパーク推進員 〇ジオパーク推進進員 〇ジオパーク推進進費 〇ジオパーク推進進費 〇ぎオパーク推進進費 〇ぎオパーク推進進費 〇ボオパーク推進進費 〇ボオパーク推進進費	団体の計50団体及び補助金を支した事業の円市ジルで活動のででである。、「むで市ジルは協議補助金とは強い。」とは、「はないではない。」とは、「ないではないできる。」といる。	E出し、目 正した。 注運営を図 オパーク 13,365 15,686 2,164 339 69	本ジオパーク全国  るため「むつ市ジ 国際交流推進員」 0,000円 8,000円 6,770円	上及び クがったい 大に対し、 らの参う さる貴さ をができ、	地ほて加重、向域か、者な「上」	経 大 こ 幾地及	のくな習をのびる舞成提価「	台で全国か 果を発表で 供すること

事 業 項 目 及 び 事業費 (決算額) 円	実	績 内	容	事業効果
企 画 費 (続き)	タクシー)利用を無料化加による健康増進及び福利用促進を図った。 ○需用費(消耗品・印 ○負担金(運賃相当額	上)の公共交通(路線/ とすることにより、高 冨祉の向上を図るととも P刷製本) 540, 頁) 40,132, 584枚 女数 4,758枚 数 84,555人	バス、デマンド型乗合 冷者の積極的な社会参 っに、公共交通機関の 593円	高齢者の積極的な社会参加に よる健康増進及び福祉の向上、 公共交通機関の利用促進につな がった。
	確保するため、廃止路線を交付した。 【脇野沢地区】 ・補助対象事業者 ・補助対象 路線 ・補助対象期間	と地域において、沿線4	事業者に対して補助金 通	脇野沢地区住民の交通手段が 確保された。
	路線バスが廃止された 有償旅客運送(公共ライ ティタクシー(川内湯野 月曜日はタクシー事業 つ市川内庁舎による直営 ○需用費(消耗品・燃 ○役務費(自賠責保険	所川線)を運行した。 養者に運行を委託し、リ 営で運行した。 然料・修繕) 食・車両購入手数料) ティタクシー運行業務) 購入) 也有償運送運転者講習)	事業者協力型の自家用 引したむつ市コミュニ く曜日から金曜日はむ 135,475円 88,670円	川内地区住民の交通手段が確 保された。
	た従業員の第二種運転免 交付した。 ○補助金 621,000 内訳:下北交通株式 (大型二種 株式会社尻屋 (大型二種	内を運行するバス・タク 色許取得に係る経費の一 円 大会社 167,000円 1名) 最観光 355,000円 2名) トタクシー 99,000円		バス・タクシー事業者の運転 手が確保され、市内公共交通の 維持につながった。

事 業 項 目 及 び 事業費 (決算額) 円	実績内容	事業効果
企 画 費 (続き)	デマンド型乗合タクシー運行事業 2,217,365円 路線バスの廃止に伴い、沿線地域住民の生活に必要な交通手段を確保するため、デマンド型乗合タクシーの運行を市内タクシー事業者に委託した。  ○需 用 費 (消耗品費) 6,215円 ○委 託 料 1,804,150円 ○備品購入費 (停留所標柱) 407,000円  【大畑地区】 ・事業開始時期 H22.8.2から実証運行開始 H24.4.1から本格運行開始 ・委 託 事 業 者 有限会社大畑タクシー ・委 託 料 1,804,150円	大畑地区住民の交通手段が確保された。
		の構築に向けた基本方針や目標を設定し、それらの達成に向けた施策等を定める「下北地域2
	JR大湊線活性化協議会負担金 1,114,000円  JR大湊線の利用促進等に取り組むことにより、路線利用の拡大や下北・上北圏域の活性化を図ることを目的に、JR大湊線の沿線自治体(むつ市・野辺地町・横浜町)及び周辺自治体(大間町・東通村・風間浦村・佐井村・東北町・七戸町・六ヶ所村)が令和4年12月22日に設立し、むつ市が事務局を務めているJR大湊線活性化協議会に対して負担金を支出した。  〇負担金 1,114,000円  【令和6年度実績】 ・大湊線全18便(上下各9便)及び全停車駅を対象とした乗降調査を実施した。	

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実 績	内	容	事業効果
企 画 費 (続き)	むつ市地域間幹線系統等確保維持: 生活交通路線として必要な広域的 を図るため、路線バス事業者に対し、 ○補助対象期間: R5.10.1~R6.9.3	・幹線的などて補助金を交		人口減少等による輸送人員の 減少により経営が悪化している 路線バス事業者に対し補助金を 交付することにより、生活バス 路線の運行維持が図られた。
	【下北交通株式会社】 ・補助対象路線 ①むつ・佐井線(むつ〜佐井) ②む つ 線(むつ〜大畑) ③泊 線(むつ〜泊車) ④野 辺 地 線(むつ〜野辺)	駅) 1,1 庫前) 8	878, 000円 182, 000円 807, 000円 842, 000円	
	【ジェイアールバス東北株式会社」 ・補助対象路線 下北線(田名部〜脇野沢)	-	)47, 000円	
	青森明の星短期大学「下北キャン	パス」運営費		地域初の高等教育機関に対し 運営費を補助することで、学び の場を確保し、教育環境の維持
	むつ市初の高等教育機関である青 パス」が果たす重要な役割に鑑み、 に、経営の健全性を高め、本市の教 として、令和6年度分のキャンパス た。	教育環境の 育振興につな	向上を図るととも けるための運営費	
	キョウイク(教育・共育・今日行く	(!)拠点によ		各事業の実施を通じ、地方創 生人材の育成、郷土愛の醸成、 地域の企業力向上が図られた。
	地元の高等教育機関を核とした地 定着、地域内での起業、創業を促す。 教育機関及び研究活動への援助等の 能性を最大限に引き出し、地域経済。 を目的として、産官学連携により設 会に対し負担金を支出した。	人材育成、「 事業を通じ、 の活性化、発	「知」の集積、高等 むつ下北地域の可 ほに寄与すること	
	会津若松市姉妹都市交流事業 会津若松市との姉妹都市盟約以 (4年に1度、相互に訪問)。令和 年を迎え、相互訪問事業として会津 つ市会津若松市姉妹都市盟約締結四 し、姉妹都市交流事業の推進を図っ	6年度は姉妹 若松市を訪問 十周年記念事	都市盟約締結40周 引すると共に、「む	業を実施し、様々な年代間での 交流が行われ、両市の更なる友 好・親善関係の促進が図られ
	<ul><li>○報 償 費 (姉妹都市交流記念日の旅 費</li><li>○委 託 料</li><li>○使用料及び賃借料</li><li>○負担金補助及び交付金</li><li>・むつ市会津若松市姉妹都市盟約</li><li>・むつ市会津若松市姉妹都市推進</li></ul>	778, 5 803, ( 55, 5 2, 100, ( 締結四十周年	102円 000円 520円 000円 E記念事業補助金 2,000,000円	

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実 績 内 容	事業効果
企     画       (続き)	高等学校通学費補助事業 25,209,651円 市内の高校生が通学に要する経費を理由に希望する学びを諦めることがないよう、下北地区の高校(田名部高校、大湊高校、むつ工業高校及び大間高校)に通学する生徒の通学に要する経費の1/2を助成した。 8,386,651円 通学に利用する公共交通機関(路線バス・電車)の定期券金額の1/2を助成・申請件数 696件(127人)・補助金額 8,386,651円 ①むつ市高等学校通学支援事業補助金(スクールバス) 16,823,000円 生徒の交通の利便性を確保するため、スクールバスの運行を実施する事業者に対し、運行に要する経費の1/2を補助・下北交通株式会社 12,173,000円 12,173,000円	とで、地域の将来を担う人材の 育成及び地域の活性化が図られ た。
	金谷公園と一体的に、学び、交流、文化、コミュニケーションの 拠点として令和4年4月に開設された「むつ下北未来創生キャンパス」の活用促進を図るため、市内にキャンパスを置く青森大学、青森明の星短期大学、従来よりサテライトキャンパスとして当市と連携している弘前大学、青森中央学院大学の合同大学祭を中心に、地域の企業及び団体とのコラボレーション、県内飲食店の出店等により、学生と地域住民の交流促進、にぎわいの創出、地域経済の活性化を図ることを目的としたむつ下北未来創生キャンパス祭の実行委	会館指定管理者等、様々なステークホルダーに参画いただき、イベントにおける展示、発表、 出店等が充実し事業が円滑に進むとともに幅広い分野において 大学生との交流が図られ高い集
	ふるさと納税関連費 53,194,720円 寄附をいただいた方にむつ市の特産品をお送りし、地域の産業や企業の魅力をPRした。 【寄附金申込使途別収入】 ・ジオパーク推進 802件 15,283,200円 ・安心して暮らせるまちづくり推進 678件 12,574,500円 ・次代を担う子どもたちのひとづくり 1,744件 41,398,000円 ・産業振興の促進 2,866件 48,195,400円 ・市民生活を守るための緊急支援対策 353件 6,435,000円 合 計 6,443件 123,886,100円 【返礼品の状況】 ○受付実績 7,040品 ○寄附者への謝礼 33,413,052円 ○返戻率 26.97%	令和6年度は123,886,100円 の寄附をいただいた。

事業項目及び		
事業費 (決算額)	実 績 内 容	事業効果
原子力広報調查費 11,929,928		は、「理解が深まった」、「やや 理解が深まった」との回答とな り、20人の参加中学生全員がエ ネルギーに関する理解と関心を
庁 舎 管 理 費 407, 404, 267		本庁舎開放エリアをデジタル防災センターに改修し、災害への対応力の強化を図る。
	<b>むつ市議会議場音響・映像設備改修事業</b> <ul><li>○建築工事 11,297,000円</li><li>○電気設備工事 58,146,000円</li><li>合 計 69,443,000円</li></ul>	市議会を映像配信するための 環境を整備し、より開かれた議 会とする。
脇 野 沢 庁 舎 管 理 費 22,206,055	<ul> <li>脇野沢地域活性化事業</li> <li>○愛宕山公園、海づり公園、龍神広場等の環境美化を図った。</li> <li>○「一夜限りの桜ライトアップ」初開催 令和6年4月20日場所 : 脇野沢庁舎駐車場来場者:約250人・消耗品費 照明機材等 99,462円・備品購入費 乗用芝刈機 954,140円</li> </ul>	環境美化整備として、公園、 広場等の広い敷地内を乗用芝刈 り機を使用することを備を行うことができた。 また、初開催の「一夜限りの 桜ライトアップ」イベテレビ、 をで取り上げられ、アピールすることができた。

事業項  事業費(済		実	積	内 容		事業効果		
広 報 46,	費 590, 206	広報紙発行 ○年間12回発行	「し、町内会経由等で		25, 010, 311円	市の取組や行事等の情報を発信したことで、市民協働によるまちづくりの推進に寄与した。		
	-		:ムむつによる情報提: :ム・アジュール」)	<b>:供</b>	13, 200, 000円	「むつ市広報タイム」として 広報紙へ掲載した内容を耳で		
		定期番組放送	むつ市広報タイム		6, 237分	聞く情報として広く発信し、 また、市議会の中継や再放送を 行うことで市政への関心を		
		不定期情報 放送	当市からの不定期の じて放送局がリアル (熊目撃、選挙など	タイムで放送	153分	高めることにつながった。 加えて、各課から随時、放送 依頼を行っているため、市民に 身近で、必要な情報を即時的に		
		緊急防災情報 放送	災害時、緊急時など 適宜放送(24時間体		0分	発信した。		
推 道 1,	養 566, 030	(町内会の道 ②活動拠点整備 ・活動拠点記 (集会所の ・活動拠点用		業 る補助) 162件	10, 154, 161円 6, 593, 640円 J) 3, 167, 843円 392, 678円	応援補助金交付要綱の規定により、町内会等が行う自主的な市民活動の実施及び活動拠点の整備に要する経費に対し補助金を交付した。		
		町会名	補助区分	交 付 額				
		新町	修繕	2, 064, 468	3円			
		横迎町	修繕	388, 378	5円			
		(英) (20 平)	土地借受料	120, 195	5円			
		本町(大畑)	修繕	715, 000	)円			
		大湊上町	土地借受料	24, 042	2円			
		下北町	土地借受料	93, 011	1円			
		田名部町	土地借受料	140, 250	0円			
		近川	土地借受料	15, 180	0円			
		計	8件	3, 560, 521	1円			

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実 積 内 容	事業効果
コミュニティ推 進 費	コミュニティ助成事業助成金 2 件 交付額 4,5	一般財団法人自治総合センター 500,000円 からの助成金を財源に、
(続き)	コミュニティ団体 交 付 額	各コミュニティ団体に助成金を 交付し、コミュニティ活動の
	城ヶ沢町内会(むつ) 2,500,000円	促進に寄与した。
	滝山町内会(脇野沢) 2,000,000円	
経 営 改 善 費 62,921,212	RPA、LINE機能拡張サービス、オンライン申請フォー、作成ツール、行政専用ビジネスチャット、ジチタイSMS 効率的に推進するためのサービスを利用することで、市 の向上と職員の業務効率化を一体的に進めた。 ・ジチタイSMS通信料 ・RPAシナリオ作成業務委託料 ・ソフトウェア使用料 8, (RPAソフトウェアライセンス料:1,848,000円) (GovTechExpress利用料:1,386,000円) (AI-0CR利用料:545,223円) (LoGoチャット利用料:2,217,600円) (LoGoAIアシスタントbot利用料:528,000円) (LoGoフォーム利用料:1,135,200円) (ログミーツ利用料:407,143円) (サポートチャットボット使用料:660,000円) (電子署名用PDFソフト使用料:17,050円)	等、業務を の利用により、市民が市役所に
	スマートフォンを所持していないシニア世代の方に、 オンの購入補助を行い、デジタル化に伴う利便性やサー など、誰一人取り残さないデジタル社会の恩恵を受けら 仕組みを構築した。	ビスの向上トアプリ「むちゅぱ」をダウン

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実 績 内	容	事業効果
経 営 改 善 費 (続き)	むつ市住民パスポートで暮らし快適事業 令和5年度に新規構築したむつ市住民パスポー ぱ」の保守運用事業として、子ども医療費受給資 や高齢者無料乗車証AGEHAのデジタル表示サービ ス利用者の拡大を図るため周知を図った。 ・システム管理保守等業務委託料 (内訳) パーソナルデータ連携基盤保守等業務委託 むつ市住民パスポートアプリ保守等業務委託 ・ソフトウェア使用料 (内訳) パーソナルデータ連携基盤AWS利用料	格証表示サービス スを中心にサービ 17,891,720円 9,072,800円	自治体人口に対するアプリイン ストール数が標準的といわれて いる5%を超える5.3%程度
	キャッシュレス決済導入事業 キャッシュレス決済端末を本庁舎市民課、税務 導入し、窓口収納における市民の皆様の利便性向 図った。 ・需用費(無線LANルーター、レシート用紙) ・役務費 (内訳) ・と回線等利用料 ・、決済手数料 ・キャッシュレス決済導入等業務委託料 ・キャッシュレス決済システム利用料 ・モバイル端末購入費	上や業務効率化を 57,728円	計5台のキャッシュレス決済対 応レジを導入したほか、LINEで
情報管理費 389,712,859		ト40台) 17, 980, 820円 627, 496円 19, 580, 000円 用プリンタについ	職員用パソコンの更新により 行政運営を効率的かつ安定して 行うことができた。 帳票印刷用プリンタは納付書 等専用紙の印刷に寄与しており、更新の際にも機器を円滑に 入れ替えることで、帳票の印刷 に柔軟に対応することができ た。
		19, 580, 000円	

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実 積	内 容	事業効果
情報管理費(続き)	人事給与システム機器更新事業 保守期限を経過し、老朽化によ を管理、計算するシステム用の機		機器の更新により、画面操作や印刷等での不調が改善され、 効率的で安定した行政運営を行うことができた。
	・人事給与システム機器更新業 ・人事給与システム機器購入費 (デスクトップ17台、ノート		
	介護保険等基幹業務システムの情報 や機器等の保守、WebGIS、財務情報 のほか、公用パソコン等情報機器 を受託処理している。	報管理と処理並びに制度改正対応報、グループウェア等の運用保守額、グループウェア等の運用保守額、グループウェア等の運用業務 : 85,758,750円】 システム含む) 82,236,000円 82,236,000円 32 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	どの作業に迅速かつ正確に対応

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実 績 内 容	事業効果
情 報 管 理 費 (続き)	ネットワーク管理運営事業 78,459,788円 国と市町村を接続する総合行政ネットワーク (LGWAN) をはじめ、各庁舎及び公共施設を接続する情報ネットワークの運用管理、また、市内のブロードバンドゼロ地域解消を目的に、市内5地区を整備した光ファイバケーブル等設備と、地上デジタル放送の難視が区伝送路の維持管理を行っている。 ・情報ネットワーク管理業務委託 40,260,000円・光ファイバ芯線等保守管理業務委託 5,562,700円・光通信ケーブル移設、撤去及び仮復旧工事 8,245,600円	(LGWAN) 及び各庁舎間ネット フークの活用により、各庁舎及 び公共施設間での迅速な情報共 有を可能とすることで事務の効 率化が図られた。 また、ブロードバンド光ファ イバケーブル等設備を通信事業 者に貸し出し、住民への安定し たインターネットサービスを提
	住民基本台帳ネットワークシステム機器更新事業 27,110,774円 保守期限を迎えた住民基本台帳の全国的管理を行う住民基本台帳ネットワークシステムに係る機器の更新を行った。 ・住民基本台帳ネットワークシステム統合端末機器更新業務委託 4,180,000円 ・住民基本台帳ネットワークシステム機器更新業務委託 18,700,000円 ・住民基本台帳ネットワークシステム機器購入費 (パソコン、タッチパネル、カードリーダ、プリンタ、生体認証装置) 4,230,774円	具合等を未然に予防し、全国と の住民情報の連携に支障を来す ことなく安定した行政運営を行 うことができた。
	地方公共団体情報システム標準化事業 37,752,000円 地方公共団体情報システム標準化にあたり、令和7年度末に国の標準システムに移行するため、スケジュール及びマイルストーンに即して必要な対応を行った。 ・地方公共団体情報システム標準化移行業務委託 37,752,000円	作業、移行するシステムのデー タクレンジング作業、ガバメン
	サーバ整備事業 11,451,000円 サポートの終了を迎えるサーバ稼働に係るソフトウェアの更新がでセキュリティ製品の調査、更新を行った。  ・CentOSサーバ更新業務委託 3,916,000円 ・セキュリティ対策製品調査業務委託 1,485,000円 ・セキュリティ対策製品更新業務委託 6,050,000円	ェアやセキュリティ製品を更新

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実 積 内	容	事業効果
情報管理費(続き)	文書管理システム基盤構築事業 令和5年度に導入した文書管理システムのまえた仮想サーバ基盤の構築を行った。 ・仮想サーバ設置場所確保のためサーバ室システムラック内機器取外し・文書管理システム仮想化基盤構築・現行環境から新規構築環境へ文書管理システムを移行・データ容量を考慮し文書管理システム決裁情報PDF出力機能追加	12,078,000円 カデータ容量の増加を踏 198,000円 9,790,000円 1,870,000円 220,000円	サーバを構築し、文書作成等 のオンライン化によるデータ容 量の増加に対応したことで、文 書管理システムを安定的に利用 できた。
コミュニティーを 理 費 186, 224, 000	・指 定 管 理 者 株式会社東京堂	63, 929, 800円 1, 980, 000円 2, 153, 800円 2, 970, 000円 6, 094, 000円 45, 012, 000円	指定管理者制度を導入し、民間のノウハウをいかした施設運営により、利用者サービスの向上及び運営経費の削減が図られた。  昭和60年10月に開館した下北文化会館は老朽化が安全性の確と利用者の安全性のらいで計画的な改修を進めるため、音響設備の改修工事を行い、利用者の利便性の向上を図った。

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	身	積	内	容	事業効果				
税 務 総 務 費	市民税関係		市民への申告相談や無申告世						
256, 085, 283	申告相談	2月7日から 6,203件を受付	3月16日まで4会	∜場で実施し、	帯に対する申告指導を行い、適正な課税に努めた。 申告相談の際は利用者識別番				
	無申告世帯	文書等による脩	屋促のうえ申告指導	草を実施	号の取得を勧め、申告の電子化 を推進した。				
	課税額(現年	度分)							
	税  目	課税対象	調定額	対前年増減					
	個人市民和	26,400人	2, 254, 505, 879	<b>▲</b> 180, 413, 768					
	法人市民和	1,098法人	324, 254, 400	28, 163, 300					
	軽自動車税種別	9 22,088台	174, 187, 800	1, 221, 400					
	軽自動車程環境性能		12, 932, 000	<b>▲</b> 616, 700					
	市たばこれ	86, 465, 941本	566, 524, 844	<b>▲</b> 20, 003, 538					
	入 湯 種	10,494人	1, 574, 100	<b>▲</b> 251, 250					
	使用済燃料和	Ä	2, 489, 400	2, 489, 400					
	合 計		3, 336, 468, 423	<b>▲</b> 169, 411, 156					
	固定資産税関	係課税額(現年度	[分)	(単位:円)					
	税目	課税対象	調定額	対前年増減	土地については、課税客体を より正確かつ効率的に把握し、				
	固定資産和	25,070件	2, 204, 314, 600	56, 507, 200	適正な課税に努めた。 家屋については、合計175棟				
	都市計画和	15,690件	164, 436, 100	<b>▲</b> 131, 500	の新増築分の調査を実施し、適正な課税に努めた。				
	国有資産等所存 时村交付金		66, 221, 200	4, 094, 000	償却資産については、申告指導をそれぞれ実施し、適正な課税に努めた。				
	合 計		2, 434, 971, 900	60, 469, 700	176(C) 57 697Co				
	新増築家屋調 ・木 造 家 ・非木造家	屋・・・ 126 榑		;棟) )棟)					
	固定資産評価	替え事業(継続費	<b>t</b> )	2,582,800円 (単位:円)	精度の高い課税資料の整備に より、事務の効率化が図られ、 公平かつ適正な課税に努めるこ				
	年 度 令和	16年度 令和7年	年度 令和8年度	合 計	とが可能となる。				
	予算額 2,	655, 400 21, 923,	000 19, 272, 000	43, 850, 400					
	決算額 2,	582, 800 –	_	_					

事業項目及び 事業費 (決算額) 円		実 積	内	容		事業効果
税 務 総 務 費 (続き)	路線価付設等	令和9年度の固治 、それらに付随 かつ適正な評価。 る。	iする固定資産土	地評価関連業務	を	
市税等徴収費 37,440,600	収 納				増やさの開記差押に	漬滞納者と新たな滞納者を さないため、夜間・休日窓口 受、臨戸訪問、各種催告、 え等を実施し、市税収入の が図られた。
	調定額(過:	年度を含む)		(単位:	円、%)	
	税目	令和6年度決算 A	令和5年度決算 B	増 減 額 C (A-B)	増減率 C/B	
	市民税	2, 646, 802, 486	2, 809, 521, 375	<b>▲</b> 162, 718, 889	<b>▲</b> 5.8	
	固定資産税	2, 354, 873, 466	2, 305, 354, 322	49, 519, 144	2. 1	
	軽自動車税	194, 442, 264	194, 548, 455	<b>▲</b> 106, 191	▲0.1	
	市たばこ税	566, 524, 844	586, 528, 382	<b>▲</b> 20, 003, 538	▲3.4	
	都市計画税	170, 237, 203	171, 425, 061	<b>▲</b> 1, 187, 858	<b>▲</b> 0. 7	
	入 湯 税	1, 707, 300	1, 825, 350	<b>▲</b> 118, 050	<b>▲</b> 6. 5	
	使用済燃料税	2, 489, 400	_	2, 489, 400	皆増	
	合 計	5, 937, 076, 963	6, 069, 202, 945	<b>▲</b> 132, 125, 982	<b>▲</b> 2. 2	
	収入済額(:	過年度を含む)		(単位:	円、%)	
	税 目	令和6年度決算 A	令和5年度決算 B	増 減 額 C (A-B)	増減率 C/B	
	市民税	2, 577, 997, 008	2, 737, 035, 507	<b>▲</b> 159, 038, 499	<b>▲</b> 5.8	
	固定資産税	2, 260, 326, 050	2, 204, 992, 540	55, 333, 510	2. 5	
	軽自動車税	187, 227, 960	186, 250, 191	977, 769	0.5	
	市たばこ税	566, 524, 844	586, 528, 382	<b>▲</b> 20, 003, 538	<b>▲</b> 3.4	
	都市計画税	163, 764, 227	164, 740, 974	<b>▲</b> 976, 747	▲0.6	
	入 湯 税	1, 707, 300	1, 692, 150	15, 150	0. 9	
	使用済燃料税	2, 489, 400	_	2, 489, 400	皆増	
	合 計	5, 760, 036, 789	5, 881, 239, 744	<b>▲</b> 121, 202, 955	<b>▲</b> 2. 1	

事業項目及び 事業費 (決算額) 円

実 績 内 容

事業効果

市税等徴収費 (続き)

## 差押えの状況

(単位:円)

令和6年度A		和6年度A	令	和5年度B	増沙	増減C(A-B)			
	区分     件数     金       動産     0       不動産     0       自動車     0	金 額	件数	金 額	件数	金額			
動産	0	0	0	(	0	0			
不動産	0	0	0	(	0	0			
自動車	0	0	0	(	0	0			
債 権	186	26, 417, 277	223	27, 872, 05	<b>▲</b> 37	<b>▲</b> 1, 454, 776			
合 計	186	26, 417, 277	223	27, 872, 05	3 ▲37	<b>▲</b> 1, 454, 776			

※令和6年度 債権差押えの内訳

国税還付金 92件 2,353千円 給 与 55件 10,760千円 預貯金 23件 3,332千円 その他 16件 9,972千円

#### 納税貯蓄組合の市税取扱状況

(単位:件、千円、%)

174 🗆	全体						納税組合取扱		
税目	件数	調定	収 入	徴収率	件 数	調定	収入	徴収率	割合(全体比) (収入額) %
個人市県民税(普通徴収)	6, 174	641, 916	615, 237	95.8	317	68, 301	68, 028	99.6	11. 1
固定資産税(純固+都市)	25, 070	2, 368, 751	2, 344, 425	99. 0	777	44, 027	43, 835	99.6	1. 9
国民健康保険税(普通徴収)	6, 976	917, 140	873, 897	95. 3	241	70, 121	68, 356	97.5	7.8
軽自動車税 (種別割)	21, 711	174, 188	172, 097	98.8	598	3, 866	3, 798	98.2	2. 2
介護保険料(普通徴収)	1, 960	113, 268	106, 225	93.8	7	662	662	100.0	0.6
合 計	61, 891	4, 215, 263	4, 111, 881	97.5	1, 940	186, 977	184, 679	98.8	4. 5

#### 口座振替

◎振替件数·振替金額

市県民税 (普通徴収) 5,940件 138,403千円 固定資産税(純固+都市) 41,475件 516,801千円 軽自動車税 (種別割) 1,915件 14,217千円 国民健康保険税(普通徴収) 10,602件 243,728千円 介護保険料(普通徴収) 965件 11,661千円 計 60,897件 924,810千円

納税成績向上のため37組合に補助金(3,867,926円)を交付(R5.4.1~R6.3.31分)、32組合に補助金(3,706,365円)を交付(R6.4.1~R7.3.31分)するとともに、納税貯蓄組合連合会を通じて、納税思想の普及を図った。

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実	積	内	容	事業効果
市税等徴収費 (続き)	○収納件数・収納 ・市県民税(普 ・固定資産税( ・軽自動車税( ・国民健康保険 ・介護保険料( 計	通徴収) 純固+都市) 種別割) 税(普通徴収) 普通徴収)	7,441件 21,171件 11,237件 7,225件 2,298件 49,372件	106, 629千円 277, 614千円 93, 424千円 159, 489千円 35, 692千円 672, 848千円	
戸籍住民基本台         台 帳 費         193, 302, 091	多様な住民ニース 提供するため、本庁 サービス専門員を配 を行っている。 本庁舎においては	べに応え、来庁 舎、川内庁舎及 置し、証明書発 は、利用者の最 ごス専門員が、 でス向上を図っ 門員配置 8人 2人	び大畑庁舎に そ行や住民基本 も多い市民課 総合案内の業	<ul><li>二、総数12人の窓口</li><li>二、台帳の異動事務等</li><li>の窓口業務に精通</li></ul>	窓口業務に特化した窓口サービス専門員を配置することで、スムーズな業務処理の向上及び来庁者の待ち時間の短縮につながっている。 毎年度、継続的な運用を行うことで、より一層の住民サービスの向上が図られる。
	交付窓口及び平日の ・平成28年2月、 ・マイナンバーカ ・マイナンバーカ	ドの円滑な交代 夜間窓口を開設 マイナンバーカ ードな付案 を付・更新を含さ	として平平平平令令令令令交に開成228年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	行っている。	令和6年度末で交付済の累計 枚数は49,913枚となり、むつ市 の人口に対する交付率は94.63 %となっている。 マイナンバーカード保有枚数 R7.3.31現在 43,737枚 82.92% ※保有枚数:現に保有されてい るカードの枚数(交付枚数から死亡や有効期限切れなどに より廃止されたカードの枚数 を除いたもの)

# 2. 民生部門

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実	績	内 容		事業効果
社会福祉総務費 491,871,542		以上の方9,00  答率43.18%と	·ト調査として、 0人を対象に調3	<b>荃票を配布。</b>	年代、生活状況と買い物に関する困りごとを地区別に調査・分析することにより、交通、商業、コミュニティ等多方面にわたる支援施策を検討するための基礎資料となった。
		汀油、ガソリン 世帯当たり5,00 22世帯	  民生活支援の一   及び軽油の購入		燃料価格高騰が続き負担感が 増す中、市民生活の支援となっ た。燃料券を発行することで、 市内経済活性化の一助となっ た。
	課税世帯に対し福祉灯 した。 給付世帯数 8,57	生活困窮者の負油購入費助成金 2世帯	担軽減を図るた		燃料価格高騰が続き負担感が増す中、特に影響が大きいと思われる低所得世帯に対し灯油購入費用を給付することで、当該世帯の支援ができた。
	給付金額 42,860,	000円			

琴 項 目 及 び 野業費(決算額) 円	実	績	内	容		事業効果	
章 害 福 祉 費 2,393,989,353	<b>障害福祉サービス事業</b> 利用者数・・・712人		知的[ 精神[ 難 病	1,741, 章がい者・・・14 章がい者・・・36 章がい者・・・19 「患者・・・」 「い児・・・12	宅や 3人 0人 6人 1人	がい者又は障がい児は施設等で入浴、食事等、就労のための訓練等活や社会生活への支持。	等の分等、同
						(単位:人、円)	
	区分		事業所数	利用実人数	利用延べ人数	給付額	
	居 宅 介	護	18	137	1, 356	145, 133, 499	
	同 行 援	護	3	7	58	1, 187, 084	
	療養介	護	2	10	120	31, 375, 960	
	生 活 介	護	35	220	2, 585	592, 193, 440	
	短 期 入	所	8	64	401	18, 485, 766	
	施設入所支	援	24	140	1, 622	256, 120, 709	
	自立訓練(生活訓	練)	7	30	225	32, 979, 730	
	宿泊型自立意	練	6	27	205	24, 338, 780	
	就 労 移 行 支	援	2	19	129	26, 626, 346	
	就労継続支援	A 型	5	22	249	33, 625, 913	
	就労継続支援Ⅰ	3 型	37	269	2, 796	388, 362, 885	
	共 同 生 活 援	助	34	79	863	149, 306, 732	
	就労定着支	援	1	5	48	1, 394, 680	
	地 域 移 行 支	援	1	2	15	530, 950	
	計 画 相 談 支	援	41	691	2, 051	38, 531, 536	
	高額障害福祉サービ	ス費		2	3	53, 977	
	新高額障害福祉サービ	`ス費		3	3	1, 244, 555	
	合 計				12, 729	1, 741, 492, 542	

項目及び 費 (決算額) 円		実	績	内	<b>7</b>	7		事業効果	
香 福 祉 費 <b>障</b>	<b>客児通</b> 所	<b>T支援事業</b>			1	93, 252, 003円	への: ける: 能力	がいのある児童に、通所により、日常生 通所により、日常生 基本的動作の指導や 向上のための訓練等 った。	活にお 、生活
							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(単位:人、円)	
	区	分	事	事業所数	利用実人	数 利用延	べ人数	給 付額	
児	童	発 達 支	援	2		67	567	65, 862, 650	
放	課後等	デイサー	ビス	7	1	.13	1, 305	115, 935, 481	
障	: 害 児	相 談 支	援	5	1	81	448	8, 893, 900	
保	育 所	等訪問支	え 援	1		6	50	587, 320	
高	高額障害児通所給付費		付費			2	4	39, 572	
40	むを得な	い事由による	措置	3		2	23	1, 933, 080	
	合	計					2, 397	193, 252, 003	
	<b>養介護医</b> 付者数	医療費給付事 医療費総額		子負担	( <u>i</u> 公費負担	8,603,073円 単位:人、円) 自己負担	護」て、	害福祉サービスの「: を利用する障がい者 医療に係る部分につ 医療費の一部を給付	に対し いて、
	10	102, 721, 63	0 91,88	8, 657	8, 603, 073	2, 229, 900			
身体	本障害者	f(児)補装具	費支給事	業	<u>í</u> )	20, 308, 258円 単位:件、円)	や社	体障がい者(児)の日 会生活の向上を図る	ため、
区	分	件数	総費用額	頁 公	費負担	自己負担	ある	失われた身体機能や 身体機能を補うため	の用具
身体	交 付	f 60	8, 988,	319	8, 794, 495	193, 824		付することで、福祉 った。	の増進
障   が	修理	49	3, 829,	100	3, 760, 430	68, 670			
//·   い   者	計	109	12, 817,	419 12	2, 554, 925	262, 494			
身体	交付	÷ 27	7, 969,	626	7, 454, 376	515, 250			
14   障   が	修理	8	329,	987	298, 957	31, 030			
//·   い   児	計	35	8, 299,	613	7, 753, 333	546, 280	1		
<u>  元</u>   合	計	144	21, 117,	000 00	0, 308, 258	808, 774	1		

事 業 項 目 及 び 事業費(決算額) 円		実		績	内		容		事業効果
障 害 福 祉 費 (続き)	<b>自立支援医療費(更生医療)給付事業</b> 125, 769, 459円 (単位:件、円、人)							身体障がい者が、障がいを除去又は軽減し、日常生活能力又は軽減し、日常生活能力又は関係される。	
			給付		医療費(		訳		は職業能力を回復させるための 医療を受けた場合、その医療費
		区 分	件数	公費負担	保険負	担目	自己負担	実人数	の一部を給付した。
		心臟機能障害	50	13, 471, 786	76, 679, 2	275	278, 443	40	
	入	じん臓機能障害	189	17, 713, 264	95, 233, 7	706	343, 722	76	
	院	<b>∄</b> +	239	31, 185, 050	171, 912, 9	981	622, 165	116	
		心臟機能障害	4	20,000	1, 110, 7	710	20,000	1	
	入	じん臓機能障害	1, 507	93, 002, 186	414, 995, 2	285	4, 793, 399	159	
	院 外	肝臟機能障害	10	146, 971	474, 0	076	57, 623	1	
		免疫機能障害	24	1, 398, 782	8, 764, 2	270	171, 368	4	
		肢体不自由	1	11, 592	40, 5	572	5, 796	1	
		計	1, 546	94, 579, 531	425, 384, 9	913	5, 048, 186	166	
		訪問看護	1	4, 878	19, 5	512	0	1	
		合 計	1, 786	125, 769, 459	597, 317, 4	106	5, 670, 351	283	
	相談支援事業							527, 675円: 件、円)	障がい者やその家族、保護からの相談対応や必要な情報が 供を行うため、4か所の相談
		委託事業所	ŕ	延べ相	淡件数		委託金	額	援事業所へ委託し、相談支援行った。
		となみ療護	葉 園		265		2,	860, 000	また、障がい者等の地域生 支援のため、地域自立支援協
		ハートランドさ	くら		299		2,	860, 000	会において関係機関による協 を行った。
		ぱれっ	ح		302		2,	860, 000	E11 2/C0
		ら・ぽる	て		49		1,	870, 000	
		合 計			915		10,	450, 000	
	講	師謝礼、旅費等	等					77, 675	

<b>* * * *</b>		実	績	内	容	ţ	事業効果
害 福 祉 費	日常生活用	月具給付事	<b>業</b>			17, 509, 523円	在宅の重度障がい者(児)に対
(5)		<del> </del>	<u> </u>			単位:件、円) 	し、日常生活の便宜を図るため 各種用具を給付し、日常生活の
	区分件数		総費月	月額 公	費負担	利用料	向上と福祉の増進を図った。
	障がい者	1, 448	15, 667	7, 529 15	, 276, 193	391, 336	
	障がい児	162	2, 420	0, 804 2	, 233, 330	187, 474	
	合 計	1,610	18, 088	3, 333 17	, 509, 523	578, 810	
	○地域活動	<b>支援センタ-</b> 助支援セン: : 額:9,000	ターI型	: ハートラ		14, 200, 000円	障がい者等に対し創作活動がは生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与するため、当事業を行う事業所
		<u></u>	に対し補助を行った。				
	在籍人数	利用実人数	開所日	数利用领	Eベ人数 ゴ	平均利用者数	
	62	22	2 2	247	5, 040	20.4	
	在籍人数	利用実人数	開所日	数利用列		、日、人/日) 平均利用者数	
	11	11		152	1, 108	7. 29	
-	<b>訪問入浴サービス事業</b> 7,874,400円 (単位:人、回、円)						在宅又は施設での入浴が困難 な重度の身体障がい者(児)に対
		実人数	延回数	総費用額	公費負		し、巡回入浴車で利用者宅を記 問し入浴の支援を行った。
	区分	/ \ / \ //\	~ III >> \		四只只.		
	区分障がい者	5	455				
	·	5	455	6, 188, 000	6, 188, 0	00 0	
	障がい者				6, 188, 0 1, 631, 7	00 0 20 54, 680	

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	:	<b>ķ</b>	績		内		容		事業効果
章 害 福 祉 費	日中一時支持	援事業				1,910,810円 (単位:人、回、円)			障がい者等の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び家族のケアを一時的に代理し、負担の軽減を図った。
	区 分 :	実人数	延回数	総費用額		公費負担 利用		利用料	
	障がい者	6	500	898,	898, 390 89		898, 390 0		
	障がい児	14	355	1, 012,	, 420	915	5, 800	96, 620	
	合 計	20	855 1,9		, 810	1, 814	4, 190	96, 620	
<b>重度心身障害者医療費助成事業</b> 40,843,765□ ○受給対象者・・・・722人 (単位: 1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,									重度心身障がい者の健康保持 及び増進を図るため、医療費を
		<u> </u>		٤٤			単位:人、件、円)		助成し、その負担の軽減及び福祉の増進を図った。
	種 別         受給者数         給付件数         給 付								
	国民健康位			274	4,	820		3, 531, 883	
	社会保险			215		921		8, 611, 285	
	後期高齢者			233		766		8, 324, 592	
	合言			722		507		0, 467, 760	
>	※給付額は、決算額から高額介護合算療養費にかかる歳入376,005円を差し引いた額としています。								
	特別障害者手	当等給付事業						36, 470円: 円、人)	著しい重度の障がいにより日 常生活において常時の介護を必 要とする在宅の特別障がい者
	区 分	特別	障害者手当	障害	児福祉手	当	福祉手	当(経過的)	(児)に対し手当を支給し、その
	受給要件		歳 以 上 の 心身障害者		歳 未 満 心身障害		20歳以上で特別障害者 手当を受給できない者		負担の軽減及び福祉の増進を図った。
	月額単価		28, 840	)	15, 6	690		0	
	受給者延人数		508	3	8	888		0	
	支 給 総 額	1	4, 578, 480	13	3, 857, 9	990		0	
	受給者数 R7.3.31現在		46	5		81		0	
		•		•		ı			

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実	稻	ŧ	内	容		事業効果
障 害 福 祉 費 <b>自:</b> (続き)	立支援医療費(育/	戓医療	·)給付事業		47 単位:件、	75, 244円 円、人)	は軽減し、日常生活能力を回復
		給付		医療費0			させるための医療を受けた場合 に、その医療費の一部を給付し
	区 分	件数	公費負担	保険負担	自己負担	実人数	た。
	視覚障害	1	70, 272	203, 888	10, 000	1	
入	聴覚・平衡機能	0	0	0	0	0	
	音 声 ・ 言 語 そ し ゃ く	0	0	0	0	0	
	肢体不自由	0	0	0	0	0	
院	内 部 障 害	2	138, 803	1, 306, 687	10,000	1	
	計	3	209, 075	1, 510, 575	20,000	2	
	音 声 ・ 言 語 そ し ゃ く	23	211, 101	529, 893	15, 996	4	
入	b 体不自由	17	55, 068	192, 738	27, 534	1	
院	内 部 障 害	0	0	0	0	0	
外	計	40	266, 169	722, 631	43, 530	5	
	合 計	43	475, 244	2, 233, 206	63, 530	7	

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実績	内	容		事業効果
民生社会費1,057,941	青少年健全育成事業(防犯活動	青少年の健全育成を目的にボランティアによる通学路等の見 守り活動を実施し、声掛け事案			
	参加団体数	参 加	者		に対応するなど児童の安全確保 が図られた。
	33団体	233人	•		1/4 日 り 4 い (こ。
	【経費内訳】 ・青少年健全育成地域研修会 ・関連団体等に対する負担金			152, 941円 915, 000円	
	<b>物価高騰重点支援給付事業(低</b> デフレ完全脱却のための総合経 して、令和6年度に新たに住民税 等割のみ課税となった世帯へ、1 歳以下のこども1人当たり5万円 給付世帯数 915世帯 給付児童数 131人 給付金額 98,050,000円	済対策におけ 非課税となっ 世帯当たり10	る物価高 た世帯及 万円、対	及び住民税均	
	物価高騰重点支援給付事業(定 デフレ完全脱却のための総合経 して、定額減税しきれない方へ給 給付世帯数 9,431人 給 付 金 額 391,450,000円	経済対策におけ	410	, 618, 494円 高への支援と	新たな経済に向けた給付金・ 定額減税一体措置として給付金 を速やかに支給し、物価高から 納税義務者の生活を守ることが できた。
	【繰越明許】電力・ガス・食料 (住民税均等割のみ課税世帯分) 電力・ガス・食料品等の物価高 響が大きい低所得世帯(令和5年 対し、1世帯当たり10万円を支給 給付世帯数 56世帯 給付金額 5,600,000円	5騰による負担 5度住民税均等 さした。	6増を踏る	, 148, 927円 まえ、特に影	

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実	積	内	容	事業効果
物 価 高 騰 対 応 重点支援措置費 (続き)	(こども加算分) 電力・ガス・食料。 年度住民税非課税世界 加算として、18歳以り 5万円を支給した。	品等の物価高騰( 帯及び住民税均等 下の児童がいる† 11人	こよる負担増 等割のみ課税	776,554円 を踏まえ、令和5 世帯への給付金の	
	【繰越明許】電力 (低所得世帯分) 電力・ガス・食料点響が大きい令和5年度 円を給付した。 対象世帯数 給付金額 1	品等の物価高騰に	こよる負担増	1,093,938円 を踏まえ、特に影	-
物 価 高 騰 対 策 給 付 金 254, 487, 928	「国民生活の安心 として、特に物価高 帯)に1世帯当たり も1人当たり2万円を 対象世帯数 対象児童数	・安全と持続的が の影響を受ける 3万円、及び当記	低所得世帯	(住民税非課税世	物価高騰の影響が大きい低所 得世帯やこどものいる世帯に対 して給付金を速やかに支給し、 当該世帯の支援をすることがで きた。
老 人 福 祉 総 務 費 219, 436, 899	外出支援サービス 要 託 先む つ市社会	区分	<b>亚</b> 州 日 秋	23,783,154円 利用回数 2,503 回	老衰、身体の障がい、傷病等により外出が困難な高齢者及び障がい者に対して、リフト付きストレッチャー装着ワゴン等の利用を提供することにより、高齢者等とその家族の身体的、精神的負担の軽減を図った。

#### 事業項目及び 事業費 (決算額) 内 実 績 容 事業効果 円 老 人 福 老人クラブ運営費補助金 3,367,000円 老人クラブ及び老人クラブ連 祉 総 務 費 合会の行う社会奉仕活動、老人 (続き) 教養講座の開催及びスポーツ振 クラブ数 会員数 興事業に必要な経費を補助する ことにより、老人クラブの活性 単位老人クラブ活動費補助金 41クラブ 1,115 人 化を図った。 42クラブ 老人クラブ連合会補助金 1,160 人 ※単位老人クラブ1クラブが活動縮小のため補助金申請せず 単位老人クラブ運営費補助金 1,590,000円 老人クラブ連合会補助金 1,777,000円 概ね65歳以上で、環境上の理 老人保護措置事業 90,229,842円 由及び経済的な理由で居宅生活 が困難な方を養護老人ホーム等 養護老人ホーム へ措置し、必要な支援を行った。 やむを得ない 計 事由による措置 市内 県 内 利用施設数 1 施設 1 施設 2 施設 4 施設 令和7年3月31日 37 人 2 人 3 人 42 人 措置人員 児 童 福 生後4か月までの全戸訪問事業 祉 914,971円 生後4か月までの乳児がいる 務 全ての家庭を訪問し、子育て支 552, 777, 895 生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に 援に関する情報提供や親子の心 関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等 身の状況、養育環境等を把握す うち、扶助費 の把握並びに助言を行い、母親の育児の疲れや育児不安等を軽減 ることで、育児の疲れや不安を (220, 423, 419)し、乳児の健全な育成を図ることを目的とする事業。 早期に把握し、支援につなげ た。 令和6年度の実績 ・訪問件数 206件 · 訪問実施率 100% こどもの権利擁護事業 こどもや家族、関係者が相談 3,386,898円 しやすい体制を整えた。また、 むつ市こどもの笑顔まんなか条例に基づき、こどもの権利擁護の様々な周知活動やイベントを開 ためのこどもオンブズパーソン及びこどもの権利相談員を設置し 催し、こどもの権利についての た。また、こどもの意見表明権を保障していくため、こどもの笑顔 周知につながった。 まんなかモニターを設置した。 施策を検討するにあたり、こ

-48-

2人設置

1人設置

・こどもオンブズパーソン

・こどもの笑顔まんなかモニター 41人設置

・こどもの権利相談員

どもの意見を聞く仕組みづくり

ができた。

事 業 項 目 及 び 事業費 (決算額) 円	実	漬	内	字		事業効果
児 童 福 祉 総 務 費 (続き)	<b>放課後児童健全育成事業</b> 令和7年3月末現在		:	159, 332, 76	8円	父母が就労、疾病等により、 放課後に適切な保護育成を受け られない児童のために、父母に
	小 学 校 名	児童数	児童数 学校別構成比 支援員数			代わり生活指導を行い、放課後 の児童の安全を守ることによ
	第一田名部小学校なかよし会	127	16. 2	7		り、児童福祉の増進を図った。
	第二田名部小学校なかよし会	146	18. 7	7		
	第三田名部小学校なかよし会	77	9.8	5		
	苫生小学校なかよし会	155	19.8	6		
	大平小学校なかよし会	133	17. 0	7		
	大湊小学校なかよし会	24	3. 1	3		
	奥内小学校なかよし会	4	0.5	3		
	関根小学校なかよし会	24	3. 1	3		
	川内小学校なかよし会	28	3. 6	3		
	大畑小学校なかよし会	58	7. 4	4		
	正津川小学校なかよし会	6	0.8	2		
	合 計	782	100.00	50		
		, , , , ,			子育で支援施設ファミリーサポートセンターを利用したひとり親家庭や低所得者に対し、利用料の1/2を助成することにの、児童福祉の増進を図った。	
	<b>子ども医療費給付事業</b> ・対象者 18歳までの児	童	:	183, 201, 10	1円	子育ての経済的負担軽減及で 18歳までの児童の健やかな成長 を支援するため、医療費を給作
	受給者数世	帯数 糸	合付件数 給	付額		し、福祉の増進を図った。
	未就学児 1,231人 小 学 生 1,790人 4,07 中高校生 2,062人	76世帯 36	5,323件 178,78	83, 926円		

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	ş	Ę	績	内	容		事業効果
児 童 福 祉 総 務 費 (続き)	<b>未熟児養育医</b> ・対象者 入			₹.	2,	572, 667円	入院治療に必要な医療費を公 費負担することで、未熟児の健 康保持増進と親の経済的、精神
	対象者数	給付件数	給付延日	日数	給付額		的負担軽減を図った。
	11人	20件	284日		2, 571, 705	円	
	<b>ひとり親家庭</b> ・対象者 18	64, 852円	父子家庭及び母子家庭等に対 して医療費の一部を助成し、福 祉の増進を図った。				
	対象者数 児童 781人 父 34人 母 518人	世帯数 552世帯	助成件数 16,173件		付額 3,988円		
児童手当措置費 544,931,765 うち、扶助費 (532,540,000)	<b>児童手当支給</b> ・対象者 18 対象児	8歳までの児	記童 延べ人数	й	532, 8	540,000円	22歳までの子を養育する世帯 に対し、18歳までの児童を対象 に家庭の生活の安定に寄与する ため手当を支給し、児童福祉の 増進を図った。
	第1·2子 第3子以降 施設入所	3,914人 587人 19人	45, 517人	532,	540,000円		
児童扶養手当 措 置 費 284,778,687	<b>児童扶養手当</b> ・対象者 18		525, 230円	父又は母と生計を同じくして いない児童の世帯に対し、家庭 生活の安定と自立の促進に寄与			
うち、扶助費 (282, 525, 230)		)人	児童数	近月人数			するため手当を支給し、児童福祉の増進を図った。
		八 79	4人 9,	482人	282, 525, 23	30円	

### 事業項目及び 事業費 (決算額) 円

### 事 業 効 果

保 育 所 費 1,903,773,693 うち、扶助費 (1,782,066,667)

#### 保育士にこにこサポート事業

9,800,000円

保育所等における保育士の業務負担を軽減するため、保育士の補がった。また、保育補助者が保助を行う保育補助者の雇上げに必要な費用を補助し、保育士の離職 育施設で一定期間勤務すること 防止を図る。 で保育士試験の受験資格を取得

施設名	補助金額
近川保育園	2, 338, 000円
ゆきのこ保育園	2, 150, 000円
並木保育園	820,000円
柳町ひまわり保育園	2, 338, 000円
苫生ひまわり保育園	1,210,000円
よしのこども園	944,000円
合 計	9,800,000円

保育補助者を雇用することで 保育士の業務負担の改善につな がった。また、保育補助者が保 育施設で一定期間勤務すること で保育士試験の受験資格を取得 できるため、保育士の増加も見 込める。

#### 法人立保育園運営費

1,034,131,790円

施設名 定員 (人) 金額(円) 近川保育園 40 39, 388, 790 並木保育園 100 95, 364, 860 40 39, 089, 650 海の子保育園 120 121, 658, 740 白百合保育園 小川町第二白百合保育園 110 118, 569, 090 ゆきのこ保育園 136, 692, 610 140 大平保育園 90 102, 081, 340 柳町ひまわり保育園 120 142, 734, 250 苫生ひまわり保育園 120 132, 904, 380 47, 427, 600 エビナ保育園 20 20 55, 919, 670 あすなろ保育園 広域入所運営費 2, 300, 810 の保育を行うことにより、福祉 の増進を図った。

保護者の委託を受けて、幼児

#### 幼稚園・認定こども園施設型給付費

合

744, 239, 377円

920 1, 034, 131, 790

施設名	定員(人)	金額(円)
大湊幼稚園	25	31, 795, 830
あたご幼稚園	25	29, 867, 495
大湊カトリック幼稚園	20	28, 359, 960
認定こども園星美幼稚園	150	145, 486, 696
認定こども園よしのこども園	90	142, 923, 830
認定こども園むつひまわり幼稚園	176	105, 355, 815
認定こども園こばと幼稚園	80	37, 309, 050
認定こども園こすもす幼稚園	60	43, 796, 665
認定こども園大畑中央保育園	60	79, 467, 000
認定こども園希望の友保育園	63	63, 998, 680
ナーサリーしらゆり	19	27, 994, 340
広域入所給付費		7, 884, 016
合 計	768	744, 239, 377

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実	績	内	容	事業効果		
保 育 所 費 (続き)	預かり保育事業 〇一時預かり事業費権	家庭において保育を受けることが困難となった園児を、幼稚園等で一時的に預かり、必要な保護を行うことにより、児童福					
	施設名大湊幼稚園 認定こども園星美彩 認定こども園むつひま 認定こども園でのまま 認定こども園でのまま 高たご幼稚園 合計	か稚園 つこども園 わり幼稚園 こ幼稚園	用者数(人) 557 5, 215 5, 441 449 320 418 12, 400	金額 (円) 1,461,000 1,390,000 2,360,000 1,580,000 89,000 941,000 7,821,000	祉の増進を図った。		
	地域子育て支援拠点事 開所場所 大平保育園 小川町第二 利用組数 2,220組 利用人数 4,609人	子育て親子の交流の場所になるとともに、育児相談や地域の子育で情報の提供を行い、身近な相談場所として子育で家庭の孤立化の予防に努めた。  病気又は病気の回復期にある児童や保育中に体調不良となった児童を一時的に預かり、保護者が子育てと就労を両立できるよう支援を行った。					
	病児保育事業 開所場所 病児預かり 病児保育室 星美幼稚園 利用件数 病 児 対 体調不良児						
	延長保育事業 ○延長保育事業費補制 ゆきのよわりのまたののまたののまたののまたののでは、 でいままでは、 でいままでは、 でいままが、 でいまが、 で	图: 160,000円 图: 77,000円 图: 178,000円 图: 546,000円		1, 166, 000円	保護者の就労形態の多様化に対応し、保護者の利便性の向上と福祉の増進を図った。		

事 業 項 目 及 び 事業費 (決算額) 円	実	績	内	容	事業効果
保 育 所 費 (続き)	子育てのための施討	00円 保育の必要のある3~5歳 と、住民税非課税世帯の0~			
(I) L C /	施設名	延べ	・人数 糸	合付金額	歳児の保育料を無償化するこ
	こばと幼稚園		24人	95, 200円	
	むつひまわり幼科	<b></b>	12人	75,850円	<del> </del>
	星美幼稚園		279人	1,300,300円	
	大畑中央保育園		179人	1,067,550円	
	大湊幼稚園		33人	99,000円	ī <b>i</b>
	あたご幼稚園		63人	116, 250円	
	大湊カトリックタ	力稚園	17人	59,900円	
	よしのこども園		197人	881,450円	
	合 計	-	804人	3,695,500円	
	<b>保育施設における</b> ・利用人数 2,932	96円 0、1歳児クラスの対象園! 全員が利用し、保護者と保育: 双方のおむつに係る負担軽減; 図られた。			
キッズパーク 管 理 費 13,792,285	団 体 ダ (4) 「子育て応援 平成29年2月 登録者数 1,8 「むつ市子育 平成30年4月	成開る P で P で P で P で P で P で P で P で P で P	5 ための、、これでは これでは これでは これでは これでは これでは これでは これでは これでは 一世の には には には には には には には には には には	転表表まままたまたまたまたまたまたまたまたまよ<	て家庭の交流の場としての提供に加え、子育て情報の発信や現相談への対応により、子育家庭の育児不安の軽減に寄与た。

#### 事業項目及び 事業費 (決算額) 内 事業効果 実 績 容 円 生活保護費支給状況 生活に困窮する被保護者に 扶 助 2, 149, 332, 579 (単位:円、%) 対し、その程度に応じて必要な 扶助の種類 給 額 構 成 比 保護を行い、最低限度の生活の 生活 扶 助 保障をするとともに、自立助長 34.21720, 271, 125 住 宅 扶 助 費 243, 959, 985 11.58 の支援を行った。 育 扶 助 費 0.32 6, 814, 334 護扶 助 費 65, 995, 826 3. 13 療扶 費 978, 437, 683 46.47 助 業 扶 助 費 3, 375, 638 0.16 葬 助 費 6, 109, 864 祭 扶 0.29 費 施 設 事 務 79, 976, 078 3.80 就労自立給付金 173, 195 0.01 進学準備給付金 600,000 0.03 計 2, 105, 713, 728 100.0 保護の種類別被保護世帯数及び被保護人員(月平均) 最低限度の生活を維持する ため、世帯ごとに必要な扶助を (単位:世帯、人) 行った。 受給割合(%) 被保護 被保護 保護の種類 人 員 人 員 世帯 世帯 89. 05 生活扶助 1, 113 1,375 88.90 1,026 66.45 住宅扶助 835 66.69 教育扶助 35 53 2.80 3.43 370 介護扶助 377 29, 55 24.42 1,084 1, 258 86. 58 療扶助 81.48 業扶 助 16 19 1.28 1.23 葬祭扶 助 3 3 0.24 0.19 月平均受給世帯数・人員 受給世帯 1,252世帯 受給人員 1,544人 1か月当たりの稼働・非稼働世帯の状況 生活保護法における稼働能力 の活用の促進を図った。 (単位:世帯、人) 単身者 2人以上 割合 (%) 保護の種類 の世帯 単身者 2人以上 世帯 常用勤労者世帯 3.91 49 0.00 員 日雇労働者世帯 2 0 0.16 内 職 者 世 帯 2 働 2 0.16 0.16 0.72 その他の就業者世帯 9 2 0.16 世帯主以外稼働世帯 17 1.36 稼働世帯合計 62 47 4.95 3.76 非稼働世帯 978 169 78. 12 1.50 医療扶助人員 被保護者の疾病に対して医療 扶助を適用した。 (単位:人) 割合(%) 入 入院外 区 分 院 院 入院外 407 延べ人員数 14,691

1,224

2.20

79.27

34

1か月当たり平均

事業項目及び 事業費 (決算額) 円	実	積	内	容		事業効果
扶 助 費 (続き)	保護の開始・廃止等の状況         (単位:件)         区 分 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度				生活困窮者から生活費や 医療費等の相談を受け、他法 他施策を活用する助言をした。	
	相 談 申 請 開 始	471 123 102	137 100	430 161 118	509 148 117	また、自助努力で生活できない人に対しては、適切な調査を実施して保護の要否を決定するとともに、保護を要しなくなった人に対しては、適切な調査を実施した上で速やかに保護を廃止した。
	取 下 却 下 廃 止	5 17 128	11 18 145	3 41 127	6 29 115	
	<b>介護扶助人員</b> 区 分	施設入所	居宅介護	割合施設入所		被保護者が利用した介護サービスに対して介護扶助を適用した。
	延 ベ 人 員 数 1 か月当たり平均	513 42	4, 014	2.72	21.70	